

一般社団法人山口県医師会平成26年度第20回理事会

平成27年1月22日(木) 午後5時～午後6時37分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・
今村常任理事、沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 平成27年度新規事業への対応について

来年度新たに、地域医療構想策定業務、地域包括ケアシステム構築の推進業務、在宅医療・介護連携推進業務、医療事故調査制度への取組み（支援機関）、医療勤務環境改善支援業務の5事業を事業計画に掲げることが承認され、それに伴う予算措置及び会務分担の見直しを行い、体制を整備することが決定した。

2 新・団体医療保険の募集対象の見直しについて

新公益法人移行に伴い山口県医師互助会制度を廃止したことにより、代替制度として民間保険会社を活用した制度の導入をしているが、取扱保険会社より募集対象者拡大の提案があり、了承することに決定した。

3 医療材料・衛生材料に関するアンケートについて

調剤報酬点数表に規定する特定保険医療材料の範囲が拡大されたことから、薬局を介して在宅患者へ医療材料・衛生材料を供給することが可能となった。これを受けて山口県薬剤師会は、山口県委託事業として「衛生材料等の円滑供給のための体制整備事業」を実施することになったため、各医療機関のニーズ調査を目的とした「医療材料・衛生材料に関するアンケート」への協力依頼があり、協議の上、了承することに決定した。

報告事項

1 都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」連絡協議会・学術大会（1月10日）

日本医師会は、平成26年度より都道府県医師会に設置されている警察活動に協力する医師の部会を統括する体制を発足するため、全国的な連絡体制を構築し、検視立会いの公益的な任務を円滑に遂行できる基盤整備を進めることとし、都道府県医師会に設置されている部会の代表者による第1回連絡協議会を開催した。午前中の連絡協議会では、今村 聡 副会長より「日本医師会における今後の取り組み方針について」、松本純一 常任理事より「『警察活動における医師の部会（仮称）』の設置状況等について」の説明があり、その後、意見交換が行われた。午後

の学術大会では、死因究明に関する特別講演 2 題と一般演題 4 題が行われた。
(香田)

2 広報委員会 (1 月 10 日)

会報主要記事掲載予定 (2~4 月号)、tys「スパ特」のテーマ、来年度の県民公開講座等について協議した。(今村)

3 第 59 回体験学習「神経内科」(1 月 11 日)

「神経診察の基本と神経生理検査」をテーマに山口大学医学部神経内科の協力により開催した。午前中は「神経診察の基本」及び「神経生理検査」の 2 講義が行われ、午後は神経診察の実技指導が行われた。受講者 18 名。(原)

4 かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (1 月 11 日)

4 講師により、かかりつけ医の役割、診断、治療及び連携と制度についての各講習及び症例検討(ワークショップ)を開催し、受講修了者に修了証を授与した。受講者 41 名。(河村)

5 第 15 回地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会 (1 月 13 日)

地方独立行政法人山口県立病院機構に係る中期計画の詳細について説明が行われ、特に問題となる事項がないことから承認された。(小田)

6 山口県学校薬剤師会各賞受賞祝賀会 (1 月 14 日)

山口県学校保健連合会の会長として出席し、祝辞を述べた。(小田)

7 国民医療を守るための総決起大会 (1 月 15 日)

国民医療推進協議会主催により、国会議員、関係団体、都道府県医師会役員等の参加の下に開催された。国民医療推進協議会長である横倉会長の挨拶及び来賓挨拶の後、中川俊男・今村 聡 副会長より趣旨説明が行われ、大久保満男 日本歯科医師会長、山本信夫 日本薬剤師会長、坂本すが 日本看護協会会長よりそれぞれ決意表明が行われた。その後、宮島喜文 日本臨床衛生検査技師会長が決議案を提案し採択され、最後に、松原謙二 副会長による「頑張ろうコール」で大会は終了した。(河村)

8 山口県救急業務高度化推進協議会・幹事会合同会議 (1 月 15 日)

県内の救急搬送の現況及びドクターヘリの出動実績及び広域連携について報告があり、救急救命士による新たな処置範囲の拡大に伴う対応について協議した。
(弘山)

9 集団指導「山口市」（1月15日）

新規指定10機関、指定更新3機関、新規登録保険医2名について実施され立ち会った。（萬）

10 阿知須共立病院新病院内覧会（1月16日）

2月1日の新病院開業に先立ち開催された内覧会に出席し、祝辞を述べた。

（小田）

11 山口県臨床検査技師会新年賀詞交歓会（1月17日）

来賓として出席し、挨拶を述べた。（小田）

12 男女共同参画部会第3回育児支援WG及び保育サポーターバンク運営委員会合同委員会（1月18日）

森 相談員により、最近の相談対応状況とサポーター登録状況等について説明があり、その後、3月8日に開催予定の男女共同参画部会総会において企画している座談会「保育サポーターバンク～6年の軌跡とこれからの展望～」の運営内容について協議を行った。（今村）

13 花粉測定講習会（1月18日）

本会の日吉正明 花粉情報委員長による講演「山口県の春の花粉群について」の後、花粉測定の実技講習が行われた。（沖中）

14 県民公開講座花粉症対策セミナー「これでバッチリ花粉症対策2015」

（1月18日）

本会の沖中芳彦 理事による「山口県の花粉情報システムと平成27年のスギ花粉飛散予測」、菅原一真 花粉情報委員による「PM2.5と花粉飛散の関係について」の2講演、大阪大学の荻野 敏 名誉教授による「花粉症患者における労働生産性の損失」の特別講演及び花粉症クイズと質疑応答が行われた。参加者135名。

（沖中）

15 医療事故調査制度に関するシンポジウム（1月18日）

広島県医師会主催、日本医師会及び中国四国医師会連合の共催により、①「医療事故調査制度の全体像と法施行に向けた国の取組み状況」（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 大坪寛子 室長）、②「日本医師会における取組み状況」（日本医師会 今村定臣 常任理事）、③「医療行為に関わる死亡の調査分析モデル事業230事例の報告～事故調査の考え方、今やるべきこと～」（日本医療安全調査機構 木村壯介 専務理事）、④「中小医療機関における課題」（寺岡記念病院 寺岡 暉 理

事長)の報告及び総合討論が行われた。参加者 120 名。(林)

16 日本医師会第 11 回理事会 (1 月 20 日)

国民医療を守るための総決起大会、中医協、第 4 回医療事故調査制度の施行に係る検討会等の報告、第 134 回日本医師会臨時代議員会の開催等について協議が行われた。(小田)

17 第 3 回都道府県医師会長協議会 (1 月 20 日)

本会提出議題「ヘルスケア産業に依存した保険者機能強化策に対する日医の考えを問う」ほか各県から提出された 8 題の質問・要望に対して、担当役員から回答が行われた。また、日本医師会から「薬局等で行う薬剤師の業務に関する日本医師会と日本薬剤師会の協議について」及び「所得水準の高い国保組合への国庫補助について」の説明が行われた。(吉本)

18 中国地方社会保険医療協議会山口部会(1 月 21 日)

医科では、新規 4 件(移転 1 件、組織変更 3 件)が承認された。(小田)

医師国保理事会 第 14 回

1 平成 27 年度法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画の策定について

平成 27 年度実践計画について協議、決定した。その後、引き続き役職員に対して法令遵守に関する研修を行った。

2 傷病手当金支給申請について

1 件について協議、承認。